

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画  事業化  事業  管理

個23事03

政策名	5 安全な港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港湾部 海務課長	
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上	事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7880 事業担当、維持管理担当、港湾工事 事務所、工事課	
個別施策名	23 港湾施設の機能を維持・強化する						
事務事業名	03 水域施設・係留施設の維持管理	継続	維持	維持	事業期間	昭和26年度～継続	
目的	水域施設・係留施設を適切に維持・管理し、船舶が安全に着離岸及び係留できるようにします。					根拠 法令等	港湾法 港湾施設条例
概要	航路、泊地などの水域施設及び岸壁、係船浮標などの係留施設を巡視・点検し、経年劣化又は利用者による損傷・不良箇所を補修し、又は補修させます。					実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	日常の巡視・点検の他、連絡業務や海上作業への往復に際しても付近施設の目視点検を行い、効率的な維持管理を行います。					関連 シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果	平成23年2月の船舶衝突により損傷した7号岸壁の復旧(平成24年8月原因者により完了)、飛島ふ頭98号岸壁の大規模な陥没の補修(平成25年3月完了)、金城ふ頭防舷材取替等さまざまな原因で損傷した港湾施設の補修を行いました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	29,240	56,280	21,862	33,736	57,181	(款項目節)
一般会計	千円	29,240	56,280	21,862	33,736	57,181	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	12,998	8,962	12,749	12,362	12,368	(その他)
正規職員	人	1.35	0.75	1.35	1.15	1.15	
嘱託職員	人	0.30	0.60	0.30	0.60	0.60	
合計	千円	42,238	65,242	34,611	46,098	69,549	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
修復が必要な係留施設及び泊地の修復率(%)	目標	100	100	100	100	100	100	修復を行なった係留施設及び海中障害物を除去した泊地÷経年劣化又は利用船舶により損傷した修復が必要な係留施設及び海中障害物の除去が必要な泊地
	実績	50.0	41.0	42.0	35.0	41		
	達成率(単年度%)	50.0	41.0	42.0	35.0	41.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
良好な係留施設及び泊地率(%)	目標	100	100	100	100	100	100	修復を必要としない係留施設及び海中障害物の除去を必要としない泊地÷全ての係留施設及び泊地
	実績	78.0	82.0	75.0	71.0	72		
	達成率(単年度%)	78.0	82.0	75.0	71.0	72.3		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						港湾管理者は港湾施設を良好な状態に維持する必要があり、利用者からも良好な維持管理が求められています。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						多くの港湾施設が老朽化しており、予算面からも目標達成は困難な状況ですが、港湾施設の機能維持には必要な事業です。
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						補修に際しては、利用頻度や損傷具合により優先順位を付けるなど必要最低限の費用で実施し、原因者が判明している場合には原因者に負担を求めています。
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
事故防止のため、今後も継続して事業に取り組んでいきます。				